



## 未来の住宅を体験



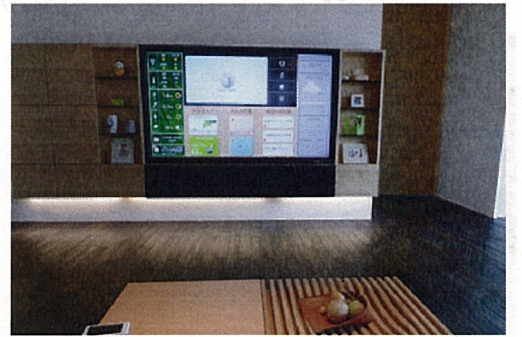
新高島駅のビルの中にある一戸建て住宅



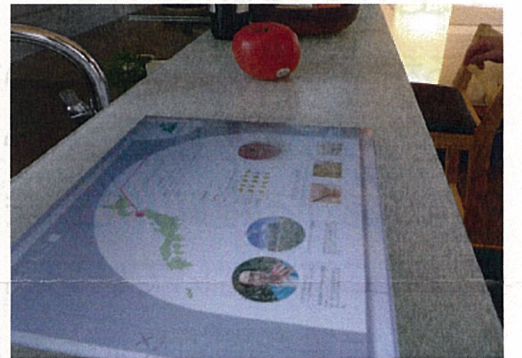
大画面の説明を受けている様子

5月19日に、日頃お客様にお世話になっております弊社と協力業者の皆さんと、横浜にある『観環居』で未来の住宅を見学し、勉強して来ました。横浜APECを経て、出来た『観環居』は、総務省の実証実験で建てた低炭素社会を実現する未来の家です。この建物は、積水ハウス、ドコモ、NEC、他多数の企業が参加しています。

例えば、スマートフォンをかざすと、あらゆる部分の消費電力が分かったり、家電照明の型番やメンテナンス情報がパネルに表示されます。キッチンでは、買ってきたりんごをセンサーにのせると生産地や、料理方法まで教えてくれます。すべてがセンサーで壁にスイッチがなく、欲しい情報がすぐにとり出せる、そんな未来の住宅は、テクノロジーを駆使した最先端の住宅でした。



パネルに家暦システムが入ってすべて電子化



キッチンに設置されているパネル

弊社は、SW工法〔高気密、高断熱、高耐震〕を取り入れ、住宅性能としてお客様に自信をもつ

て、安心して住んで頂ける住宅を作り続けております。建築も時代とともに変化しますが、日々勉強しこれからも、お客様の住み方に合った住宅を提案し、SW工法で、快適、健康、安心、省エネの家を造っていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

## トドのひとり言 がつがつ...

『未来の住宅』モデルハウスを私も見学してきました。…が、この夏、72才になる私にとっては、ハイテクに出来過ぎていて、先端技術に頼らないと何も出来ないロボットの様になってしまう。

マイホームは一日の疲れを癒し、明日の仕事への活力を貯めて、心身共にリラックス出来るようにするべきだと思います。見学したモデルハウスは人間としての機能も心も関係なく、唯、食べて飲んで寝るだけで、私は住む気になれません。弊社モデルハウス『り・ら・く』の方が人が住むに適したモデルハウスと実感しました。

木の香りがいっぱいモデルハウス『り・ら・く』を見学してみてください。

人間70才を過ぎると、頭の回転は鈍くなり、運動神経も鈍くなり、口ばかり達者になりますが、ある任意団体・会長の職を要請され、福祉のまちづくり委員（12年目）も委嘱状を受け、「会長」と呼ばれると「ハイ」と答えるのは4つの会になり、委嘱状を戴いているのが3つの会で、女房には歩くにもヨタヨタ歩いている人が、そんなに役を受けたら、会の役員や会員の皆様に迷惑を掛けるから、やめなさいと怒られています。（先輩に会社の経営者はボランティアが出来なければ、真の経営者ではないと言われた事がありますが…）

来年は減らします、これも社長（長男）専務（次男）を始め社員が、日々頑張ってくれ、三和住建が町田市民に認められつつあるのでは。感謝すると共に私自身も身体を鍛え？

身体障害者でも健常者と同じように出来るのだと（皆様の理解と心のバリアフリーの精神に甘えていますが）言う事を身体障害者にメッセージとして伝えたいです。

★弊社のホームページがリニューアル致しました★

各部署でのブログも開始致しましたので、是非ご覧になってみて下さい。 アドレス→<http://www.sanwajuken.com/>